

独立行政法人奄美群島振興開発基金 事業年度評価の全体評価シート

中期計画の項目	評定	理由・指摘事項等
第1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A ⁺ ・A・ B ・C・D	一般管理費については、全体としては当該計画を上回る削減実績をあげている。 また、人員配置の見直しにより債権管理業務の機能強化を実施したことは評価できるが、民間銀行からの電子化情報の入手につき引き続き努力が必要。
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A ⁺ ・A・ B ・C・D	事務処理の迅速化について、計画は達成と認められるが、受付前の事前協議に時間を要し、結果的に申込者の利便性が改善されないということにならないよう注意を払う必要がある。
第3 予算、収支計画及び資金計画	A ⁺ ・A・B・ C ・D	リスク管理債権に関する年度計画については、相当程度未達成であり大幅な改善を要することから、今後改善に向けて、効率的な管理体制を検討することが必要である。
第4 短期借入金の限度額	-	
第5 重要な財産の譲渡等の計画	-	
第6 剰余金の使途	-	
第7 施設及び設備に関する計画	-	
第8 人事に関する計画	A ⁺ ・A・ B ・C・D	目的共有、段階的人事評価、ニーズに応じた人員配置(債権回収業務の強化のための総務企画課から管理課への異動)等工夫が評価できる。
第9 その他業務運営に関する重要事項	-	

全体評価

全体として順調に年度計画を達成しているものの、リスク管理債権に関する年度計画について、計画を大幅に下回っている。債権管理業務の機能強化のため、人員配置の見直しを実施したことは評価できるが、更なる改善に向けて、効率的な管理体制を強化することが必要である。

更に、事務処理の迅速化について、標準処理期間内に大半の案件の処理を終えており計画は達成と認められるが、受付前の事前協議に時間を要し、結果的に申込者の利便性が改善されないということにならないよう注意を払う必要がある。

なお、適切な保証条件・貸付条件の設定については、リスク評価を反映するよう努められたい。